

MLP Japan ニュース



ハートの形のあじさい

ごあいさつ

クリスチャンの幸せ

6月には梅雨の季節——のはずが、今年は雨が少なく、**真夏のよう**な暑さが続いています。しっかりと心を整えるはずの時期に、思わぬ猛暑に戸惑う日々。**それでも、神さまはこの季節にも、変わらぬ恵みを注いでくださっています。**

この月には「父の日」があり、地上の父親たちに感謝すると同時に、**天の父なる神さまを思い起こす良い機会となります。**すべてを見守り、導いてくださるその愛に、心を向けて過ごしたいものです。

MLP Japan 編集長
江川かをり

ご報告 1

ワンアジアチーム来日

2025年5月24日、**ワンアジアチームのピーター・ヤンケ牧師が、WELSのベン・トムザック牧師と共に東久留米を訪問されました。**

お二人をレストラン E.den にお迎えし、昼食を共にした後、午後には意見交換の時を持ちました。**0～14歳の世代に向けた讃美歌翻訳を通じた伝道と教育のビジョンが、互いの心を励ます主題となりました。**

翌25日には、2牧師と筆者、LECCのあがない教会の仲本牧師を交えた**四者の対話**が実現し、**主にある前進の一步**が示されました。

ご報告 2

CELIC 会議

インドネシア・バリ島にて、6月10～12日に**第3回 CELIC アジア・オセアニア会議が開催されました。**インドネシアやフィリピンの翻訳者、ベトナムのモン族宣教師など、**2017年に終了したアジア・ルーテル神学校**

(ALS)の聖書翻訳コース卒業生たちも参加しました。日本からは**LECCの牧師2名が出席。**会場では音楽による交流も盛んに行われ、**讃美歌伝道とのつながりも感じられる、喜びに満ちた集いとなりました。**会議の成功に心から感謝いたします。



※記事写真はフィリピンの翻訳者が現地で撮影したもの。



今月のみことば

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。

使徒の働き 1章 8節

発行人：MLP JAPAN 編集長 江川かをり <https://wels.net/>

〒203-0053 東久留米市本町 1-3-39 TEL: 042-472-3454

SUPPORTED by Star Cross, a Japanese Translation & Writing Company

WELS からのメッセージ

イエス様を通して見る「自分」

私たちは日々、罪を犯しがちです。うそをついたり、人に冷たくしたり、自分の罪深さを痛感するたび、「私は罪人だ」と感じるのも無理はありません。神のことばに触れるほど、罪の深さが浮き彫りになります。

しかし——それが私たちの**本当の「アイデンティティ」**なのでしょうか？世の中では「自分らしさ」や「自己認識」が話題になりますが、クリスチャンにとっての自己像は、自分の感覚でも、他人の評価でもありません。**神のことばこそが、私たちの本当の姿を映し出します。**聖書が信仰者について語るとき、その多くは前向きで力強い表現です。信者は「王である祭司」、「聖なる国民」、「神のものとされた民」と呼ばれます（1 ペテロ 2:9）。つまり、「**罪人**」という状態（state）ではなく、「**神の子**」という地位（status）によって本質が定義されているのです。

「放蕩息子」のたとえで財産を使い果たした息子は父に「わたしはあなたに子と呼ばれる資格はないです」と言いますが、父は「お前はわたしの息子だ」と迎えます。**息子の状態がどうであれ、地位は失われていませんでした。**

私たちも同じです。過去にどんな罪があっても、**キリストを信じる信仰により、今も「神の子」です。それがすべてです。**

マックス・ルケードは、内気だった女性がある日、自信に満ちて話し始めた話を紹介しています。理由は、「私は選ばれたの」。愛する男性が彼女に言ったのです。「一緒に永遠を過ごそう」と。

神もあなたに語っています。「**わたしはあなたを選び、愛している**」。この真実に生きることは、簡単ではありません。日々の中で、自分の弱さや失敗にばかり目が向きやすいからです。でもだからこそ、**神がくださった「神の子としての地位」を見直す必要があります。**

聖書は、信じる者に与えられた新しい姿を、美しい芸術作品のように描いています。どうかそれらを、通りすがりに見るのではなく、**鑑賞者のように立ち止まり、じっくり味わってください。**そうすれば、信仰生活はさらに豊かなものになるはずです。

マーク・ケアーズ

引退牧師／アイダホ州ナンパにあるメソヂヤ教会の会員

ペンテコステの約束

イエス・キリストは、私たちのために完璧な人生を歩み、十字架で罪の代価を払い、復活によって私たちの永遠の命を保証してくださいませ



した。そしてそのすべてを成し遂げたあと、王の王としての**全能の力を再び取り戻されました。**この福音の真理は、今も変わりません。

その上で、イエスは「助け主＝聖霊」を送ると約束されました。「しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたの益なのです。去って行かなければ、助け主はあなたがたのところに来ません。しかし、もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところに遣わします。」（ヨハネ 16:7）

この約束は、ペンテコステの日に実現しました。**助け主・慰め主である聖霊**は、弟子たちに力を与え、さまざまな国の言葉で福音を語らせました。それを聞いた人々は信じ、その日だけで 3,000 人もの人がイエスを信じるようになったのです。

この出来事は、かつてバベルの塔で分断された国々や言語を、**福音によって再び一つに結びつける神の奇跡**でもありました。まさに、黙示録 7 章 9 節にある「すべての国民、部族、民族、言語」から集められた大群衆の幻が、始まりを告げた瞬間だったのです。

聖霊の働きは、今も変わらず続いています。聖霊は、私たちに語るべき言葉を与え、勇気を与え、イエスの救いを思い出させてくださいます。「言うべきことは、そのときに聖霊が教えてくださるのです。」（ルカ 12:12）

ペンテコステは、イエスの復活から 50 日後に祝われる、教会にとって大切な記念日です。そしてその**ペンテコステの約束——すなわち聖霊と福音の宣教の力——は、今もあなたや私を通して広がり続けています。**聖霊は、私たちが語る福音を通して、人々をイエスに導いてくださいます。このすばらしい贈り物を、心から喜びましょう！

スノーデン・ジーン・シムズ

米オハイオ州コロンバスのセントポール教会副牧師

上記の 2 記事は、WELS 公式月刊誌『Forward In Christ (FIC)』2025 年 6 月号の記事を翻訳・要約・スタイリング編集したものです。

さんびのひととき

This Little Light of Mine ちいさなひかり

This little light of mine, I'm gonna let it shine.
This little light of mine, I'm gonna let it shine.
Let it shine, let it shine, let it shine.

ちいさなひかり ひからせよう
ちいさなひかり ひからせよう
きりり きりり きりり

わたしのもの ひからせよう
わたしのもの ひからせよう
きりり きりり きりり

※英語 1 節を、子ども向けに 1 - 2 節にわたって訳してあります。訳詞：江川かをり 2025. 6

Published by Kaori Egawa - MLP Japan Editor <https://wels.net/>

1-3-39 Hon-cho, Higashikurume-shi, Tokyo 203-0053 TEL: 042-472-3454

SUPPORTED BY STAR CROSS, A JAPANESE WRITING & TRANSLATION COMPANY